



校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和元年7月5日(金) No12

文責 狭間卓史



5つの「C」

6月27日(木)、『心のきずなを深める集会』を開催しました。「いじめのない学校にするためにはどうすればよいか」というテーマのもと、全校生徒で話し合いました。この集会は今年が初めての試みだったのですが、どの学年の生徒にとっても日頃の学校生活を見つめ直す機会として位置付けてのことでした。

今回の取組の特徴としては、何と言ってもP C班での話し合い活動を取り入れたことです。本校では様々な機会にこのP C班での活動を取り入れていますがP C班とは「Pentagon-C」(5つのC)・・・【CREATE: 創造する、COMMUNICATE: 伝える、CHALLENGE: 挑戦する、CHANGE: 変える、CONNECT: つながる】という意味です(今年赴任してきた私も、今回、職員に教えてもらいました。)

学年の枠を越えた縦割り班での活動で、各班が三年生を中心に取り組むのですが、様々な意見が出ていました。取組最後の意見交換でも「学級では学べないような視点での意見を聞けて良かった」という声が生徒の中からあがり、有意義な時間となりました。今回、私は校外での会議に参加しており、この集会には最後の15分間程度しか参加することができなかつたのですが、三年生を中心に全学年が真剣に話し合い、互いの意見に学び合う姿は見ていて心躍る光景でした。「5つのC」に学ぶ本校生徒がこれからどこまで力をつけていくのか楽しみでなりません。

なお、今回の取組は今後、学級毎の人権学習を経て、今月17日開催予定の『前期校内人権子ども集会』での学び合いにつながります。これまたどんな学びの言葉が聞けるのか今からワクワクしています。



無念と感謝

1日(月)～3日(水)は一年生が「阿蘇青少年交流の家」での集団宿泊教室でした。しかしながら大雨の予報による町内小中学校の一斉休校の措置を受けて、あと一日を残して急きょ中止とさせていただきました。本来ならば最終日に石窯ピザとパン作りに取り組み、美味しい昼食の計画を立てていたのですが・・・、生徒らの表情を思い浮かべると判断も迷いそうになったのですが、お預かりしている生徒の安全以上に優先するものは何もありませんでした。そうは言ったものの、生徒はもちろんのこと、綿密に下見も行い準備していた学年部職員も残念そうな表情で帰校してきました。



当日の急な決定・メール連絡にもかかわらず対応してくださったご家庭の皆様をはじめ時間外にもかかわらず送迎を担ってくださった「津埜観光」さんには感謝申し上げます。併せて、寮生の保護者の皆様方もお迎えのご協力ありがとうございました。